

美しき長安・中国名家山水画展

日中間の芸術文化交流が活発化

展覧会の概要

主催：中国国家観光局、東京中国文化センター、新華社日本支社
 後援：中国大使館、国土交通省観光庁、日中文化交流協会、日中友好議員連盟、日中友好協会、日中協会
 入場料：無料
 開催期間：6月18日(月)～23日(土)
 開館時間：午前10時30分～午後5時30分(最終日は午後2時まで)
 会場：東京中国文化センター
 住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル1階
 TEL：03-6402-8168
 FAX：03-6402-8169
 アクセス：東京メトロ日比谷線「神谷町駅」4番出口から徒歩5分
 東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」2番出口から徒歩5分



国交正常化40周年記念 芸術家6人が作品を展示

日中国交正常化40周年を記念する2012「日中国民交流友好年」で、日中間の芸術文化交流が活発化している。東京国立博物館では「北京故宮博物院200選」を1月に開催。中国美術史上屈指の名画といわれる「清明上河図」(北宋時代)も展示された。

6月18日からは「美しき長安・中国名家山水画展」が東京中国文化センターで開かれる。中国美術家協会や西安美術学院に所属する6人の著名画家の水墨画65点を展示する。彼らの作品は中華文化を代表する長安(今の西安)の風情や人情を表現しており、国内外で高い評価を受けている。

また、日本旅行は10月12～14日の日程で「書と美 日中市民交流の祭典」を西安市で開く。書の展示、書道家の講演、日本の風景画・写真の展示、書家・愛好家の意見交換などを通じて、両国民に市民交流の場を提供する。日本からはツアーで1千人の参加を予定している。

全国旅行業協会(ANTA)と日本観光振興協会、日本旅行業協会(JATA)は、2千人規模の「弘法大師・空海を偲ぶ日中交流訪問団」が空海ゆかりの地、西安市を訪れる事業を8月28日に実施する。

空海は平安時代の804年に唐に渡り、帰国して真言宗を開き、その後の日本文化に影響を与えた。訪問団は、空海ゆかりの青龍寺で法要、祈願を行うほか、日中友好の歴史を学ぶ講演会や日中国交40周年をイベントに参加する。事業主体は3団体が構成する「弘法大師・空海を偲ぶ日中交流訪問団実行委員会」。委員長は「階後博 ANTA会長(衆議院議員)」が務める。ANTAやJATAの会員旅行会社は、事業を含むツアーを企画、募集する。

ここでは18日から23日の日程で開かれる「美しき長安・中国名家山水画展」に作品が展示される6人の芸術家と作品の一部を紹介する。



袁方 教授
 国务院政府特殊手当専門家、陝西省人民政府参事官、中国美術家協会会員、陝西省文史館研究員、陝西歴史博物館壁画研究センター長、陝西漢唐文化芸術研究院院長、陝西書画芸術研究院名誉院長、陝西省泰嶺書画院名誉院長
 1954年陝西省志丹院生まれ



王金岭 画伯
 中国美術家協会会員、国家一级美術師、陝西社会科学院書画研究院理事、華連書画院副院長、陝西省映画美術学会芸術顧問、陝西省花鳥画研究院名誉院長、西安美術学院・アモイ大学客員教授。国务院特別手当を受ける専門家として現代長安画系リーダーの1人
 1940年河南省新郷生まれ
 1963年西安美術学院中国画系卒業



丁素玫 助教授
 中国美術家協会会員、陝西省中国画研究会副院長・助教授
 1966年西安生まれ。西安美術学院中国画修士



李玉田 教授
 中国美術家協会会員、黄土画派研究会会員、西安市政協委員、西安美術学院继续教育学院副院長、陝西省中国画研究会副院長、陝西省人民書画院副院長、陝西国画院画家、西安中国画院画家
 1961年陝西省扶風生まれ。西安美術学院修士



武晓麗 講師
 西安美術学院国画学部講師
 1999年西安美術学院国画修士。1996年「華清杯」で全国書画大展金賞受賞



陳斌 助教授
 西安美術学院国画部助教授、西安收藏研究会会員、国画部主任、陝西花鳥画研究会理事、陝西青年書道家協会理事
 1963年江蘇省南通市生まれ。中国美術学院国画学部花鳥学科卒、西安美術学院山水画修士

